

新旧の社殿が並ぶ伊勢神宮



平成6年1月1日  
第11号  
発行所  
阿蘇神社社務所  
多良見町化屋名862  
TEL 0957-43-5235



阿蘇神社

宮司 大島 大明

平成六年の年頭に当たり、謹し  
んで聖寿の萬歳と皇室の弥栄を寿  
ぎ奉るとともに、氏子崇敬者皆様  
方のより一層の御多幸をお祈り申  
し上げます。

我が庭の宮居に祭る神々に

世の平らぎを祈る朝々

これは昭和五十年の歌会始、御  
題「祭り」での昭和天皇御製であ  
ります。このように常に世の平和  
と、人々の幸福とを祈り続けられ  
ますことが歴代天皇の大御心であ

### 敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大  
平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類  
の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。  
ここにこの綱領をかかげて、向かふところを明らかにし、  
実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、  
神のみこともちとして世をつくり固め成すこと  
一、大御心をいただきてむつび和らぎ、  
国の隆昌と世界の共存共榮とを祈ること

り、また天照大神をはじめとし  
て神社に祀られる神々全ての大御  
心であります。

神主の規範であります敬神生活  
の綱領の第三項に「大御心をいた  
だきてむつび和らぎ・・・・」と  
あるのも、天照大神より歴代天  
皇へ連綿と受け継がれている大御  
心を、私たち一人一人がいただい  
て、日々の生活の中で、国の隆昌  
と世界平和を祈り、努力していくこ  
うと云う決意を表したものです。

# 神社本庁(第七期)神社振興対策指定神社の指定を受けて

## 指定神社とは

神主としても大変名誉なことさ  
れております。

昨年七月一日附で神社本庁より  
神社振興対策指定神社として栄え  
ある指定を受けました。  
指定神社(通称モデル神社)とは  
は、神社本庁が包括する全国約八  
万社の内より、神社の規模・地理  
的環境等の基準により神社振興の  
モデルとなりうる神社を選定(一  
期三ヶ年)指定するもので、昭和  
五十年に制度化されました。この  
指定を受けることは重責ではあり  
ますが、神社としては勿論のこと、

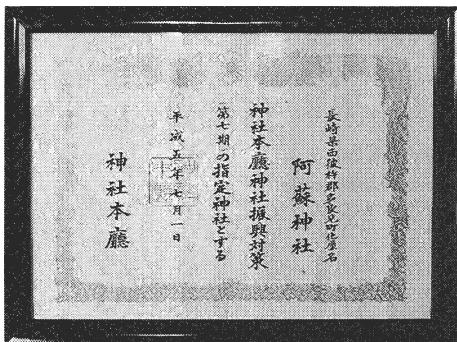
## 神社の現状

阿蘇神社はご承知の通り熊本県  
一の宮の阿蘇神社より御分靈を戴  
き奉斎されております。社伝によ  
ると天文三年(西暦一五三四年)  
甲午仲秋九月に勧請されておりま  
す。爾来喜々津の総鎮守として崇  
敬を集め、明治七年五月に旧喜々  
津村の村社に列せられました。

## 指定神社として

昭和五十九年に御鎮座四百五十  
年祭を齋行し、記念事業として本  
殿鞘室の新築と拝殿以下の改築を行  
いました。また平成四年には  
老朽化した社務所も改築され、併  
せて境内の整備も、屋外便所の設  
置、石灯籠の改修、相撲場移転工  
事など順次行なわれております。

これらの事業は全て氏子崇敬者  
の協力によるものであります。



昭和五十九年七月一日  
阿蘇神社  
神社本廳神社振興対策  
第七期の指定神社とする  
神社本廳

阿蘇神社は旧喜々津村の総鎮守  
(村社)であり、喜々津地区の全て  
が所謂氏子区域となっております。  
喜々津地区内の戸数は昭和五十年  
代に入つてより住宅団地の造成が  
進み、当時の二倍強へと大きく増  
加しております。正月の初詣者数、  
節分時の参拝者数等も毎年増加  
してきております。

奇しくも今年は阿蘇神社御鎮座  
四百六十年の佳年に当たります。  
指定神社として栄誉とともに重なり  
阿蘇神社にとって記念すべき年と  
なりました。

今回の指定を記念して昨年末に  
は拝殿前に見事な賽銭箱、それに  
神の恵みと祖先の恩とに感謝す  
る心のを忘れず、神社を次代へ確  
実に引き継げるよう精励格勤、神  
明奉仕に努める所存であります。  
今後とも氏子崇敬者皆様の、格  
別のご支援ご協力を賜りますよう  
お願い申し上げます。

宮司 大島 大明







